

(次期) 人間市行政改革大綱 骨子案

第1章 序論

1 行政改革の経緯

2 情勢分析(行政環境の変化と新たな改革の必要性)

第2章 大綱

1 基本理念:「公共サービスの最適化」

これまで行政改革は、行財政運営の安定性を確保することを目的に行政組織の効率化と経費削減を主な目的としてきました。

新行革大綱においては、「公共サービスの最適化」を基本理念に据え、社会情勢の変化に応じて、市民の利便性の確保にも配慮した行政サービスの再編と、より効率的、効果的な体制の整備をめざして、次の3点をテーマとして取り組みます。

簡素で効率的な組織体制の構築

社会情勢の変化に見合った行政サービスへの見直し

多様な事業主体によるサービス提供体制の構築

2 構成と期間

3 重点項目

(1) 事務事業の最適化(事務事業の選択と集中)

歳入の確保 事業の評価 事業の重点化 歳出の削減

(2) 組織機構の最適化(簡素で効率的な行政組織の構築)

職員意識の改革

人材育成 組織機構の簡素化、効率化 定員の適正管理

(3) 行政サービスの最適化(変化に見合った柔軟な行政サービスの実施)

市民ニーズの把握に基づくサービス編成

情報システムの整理統合と拡充 広域行政の推進

(4) 公共施設の最適化(公共施設マネジメントの推進)

施設機能と行政サービスの見直し 施設の活用、長寿命化の推進

管理運営の効率化

(5) 担い手の最適化(新しい公共・PPPの推進)

市民と行政の役割分担 協働の推進 民間活力の有効活用

4 体系

第3章 推進体制

1 推進組織

2 評価システム